

第 34 回日本疫学会学術総会・運營業務企画コンペ参加要領

1 趣旨

第 34 回日本疫学会学術総会・運營業務委託業者選定要綱に基づき、運營業務企画コンペの参加方法について定めるものとする。

2 第 34 回日本疫学会学術総会の概要

1) 総会開催趣旨

日本疫学会は、疫学研究の進歩発展と会員相互の交流を目的に、1991 年に発足した学会である。世界的な高齢化、また日本では少子化も加わり、健康に関する問題は益々複雑になっているが、その複雑化する健康問題に対処するため、疾病や健康に関する事象の発生要因の解明、予防対策の計画、実行、評価、社会制度の改変、整備等、幅広い分野での活動に疫学の知識、技能、技術の重要性が役割として益々高まっている。疫学を担う、あるいは活用する人材として、予防、臨床、看護、介護の分野のみならず、心理学、社会科学、政策学等の人文系の学問や実践の分野の人々の参加が重要であり、本学会はその交流の場である。

日本疫学会は、疫学研究の進歩発展と会員相互の交流を目的に毎年学術総会を開催しており、第 34 回大会(大会長:滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター予防医学部門 教授 三浦克之)では、特別講演、シンポジウム、一般口演等を通して発信していく。

2) 概要

①名称：第 34 回日本疫学会学術総会

②開催時期：2024 年 1 月 31 日(水)から 2 月 2 日(金)の 3 日間

③開催場所：滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 大ホール・中ホール

<https://www.biwako-hall.or.jp/access>

(〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 15-1)

*疫学セミナー、ランチョンセミナー、懇親会はメイン会場近隣の別会場の予定

④参加者数：約 1,000 人の見込み

⑤学術総会・特別行事(予定)：

特別講演、メインシンポジウム、学会各委員会企画シンポジウム、疫学セミナー、一般口演(約 50 題)、ポスターセッション(現地:約 250 題)、企業展示等

*現時点では、対面実施の予定(ハイブリッドでの実施の可能性もあり)

3 運營業務委託の内容等

後述の「第 34 回日本疫学会学術総会・運營業務等委託仕様書(以下「仕様書」)」のとおり。

4 参加方法

1) 申込書、企画書の提出

「第 34 回日本疫学会学術総会・運營業務企画コンペ参加申込書」(以下「申込書」という。別紙様式 1)並びに「第 34 回日本疫学会学術総会・運營業務に係る企画提案書」(以下「企画提案書」という。別紙様式 2:2022 年 7 月 15 日(金))の提出。

※ 必要事項を記入の上、メールにて提出すること。提出後 3 営業日以内に受領確認メールを受け取らなかった場合には、電話等で連絡をいただきたい。会社概要について独自の書式で作成したものがある場合は、その添付でも可。

2) プレゼンテーションの実施

原則として実際の受託業務の総括責任者(業務の遂行に責任を持つ者)または業務担当者(連絡責任者)として従事する者が、プレゼンテーションを行うこと。オンライン開催の予定(日時の詳細は後日連絡)

3) 応募資格

過去5年間に医学系学会の開催実績を有し、かつ運営に習熟している事業者に限る。

5 受託事業者の決定方法

見積額、企画書及びプレゼンテーションの結果を基に総合的に評価し受託事業者候補を選定する。受託事業者候補の選定後、業務の進め方等の打ち合わせを行い、業務内容の細部を決めて契約を締結する。また、契約締結後、新型コロナウイルス感染症の流行状況、その他の状況により、学会・学術総会の規模、プログラム内容等により契約金額を変更する場合がある。

6 問い合わせ・企画提案書送付先(委託事務局)

第34回日本疫学会学術総会事務局(滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター)

担当: 原田(医療統計学部門)

住所: 〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話: 077-548-2885/ 2191

FAX: 077-543-4800

電子メール: aharada@belle.shiga-med.ac.jp